

# 富谷小だより

渋谷区立  
富谷小  
学校通信

## 教育活動を振り返り、改善につなげる

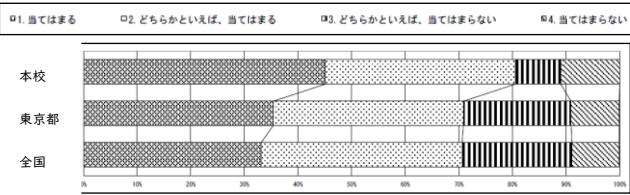
校長 石川 亜由美

前期も残すところ数日となりました。ここで、6年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙への回答結果を資料に、本校の教育活動を振り返りたいと思います。

質問項目は全部で7つありましたが、その中から、本校が特に大切にしていることについて抜粋してお伝えします。

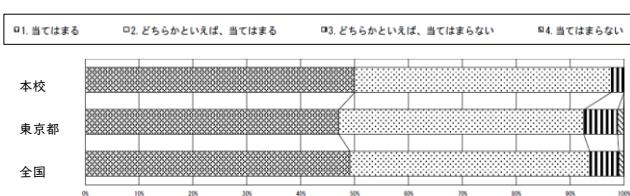
まずは、安心で安全な学校づくりに関わる項目です。

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



肯定的な回答は、都・国の割合よりも高い結果となりましたが、2割近くの児童は相談しにくい・できないを感じていることが分かります。以前、「先生が忙しそうだから相談しにくい」という声を聞いたことがあります。大人が気持ちの余裕をもって子供たちに接することができるようにすること、また、複数の大人が関わりをもち相談しやすい状況をつくることなどをさらに意識的に行っていきます。

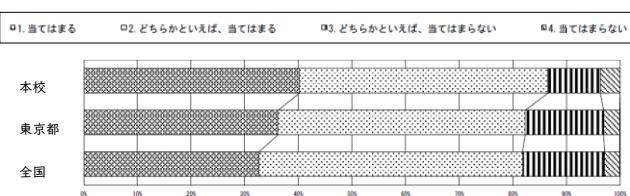
人が困っているときは、進んで助けていますか。



肯定的な回答は、都・国の割合よりも高い結果となりました。実生活でも、友達が困っていると自然に声をかける、手助けするといったうれしい姿が広がっています。

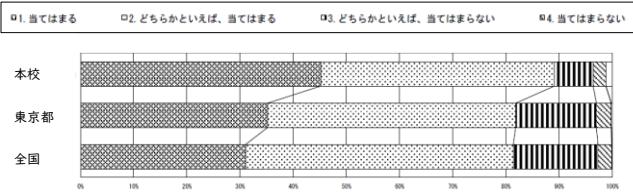
次に、学び方に関する質問項目に触れたいと思います。本校では、学び手である児童自身が学習(単元)のめあてを理解し、学習に見通しをもって取り組むこと、自らの学びを振り返り、次のめあてをもつことを大事にし、主体的に学ぶ力を育てることに力を入れています。その実践が次の結果につながっていると考えます。

分からぬことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



できていないと感じている1割強の児童を中心に、引き続き支援・指導を続けていきます。

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」に、あなたはどうぞくらい当てはまりますか。



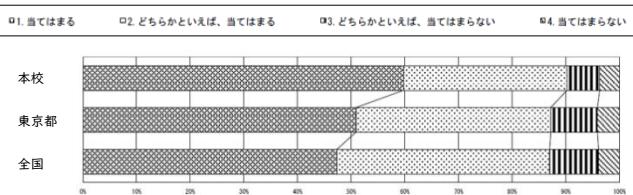
タブレット端末を利活用することで、自分の理解や進度に応じて学習を進めたり、友達の考えを知ったり、そこから学んだりすることがしやすくなっています。

また、次の質問項目に関しても都・国よりも肯定的な回答が高い結果となりました。

- 分からぬことがあった時にすぐ調べることができます
- 自分の考え方や意見を分かりやすく伝えることができる
- 友達と協力しながら学習を進めることができます

最後に、自己肯定感に関わる質問です。

自分にはよいところがあると思いますか。



人には、得意なところもあれば苦手なこともあります。それをまるごと受け止めて、自分のよいところに自信をもち、様々なことに主体的に、前向きに関われる人に育てていきたいと思っています。

終業式の日に、お子さんに通知表「あゆみ」を渡します。「あゆみ」には、お子さんが前期の間に身に付いた力や表れたよさ、あるいは、今後取り組むとよいことなどを記述しています。ぜひ、お子さんと一緒に読み、秋休みの間に後期の目標を相談してください。